

2022年3月24日

「まなびポケット」の申し込みID数が300万を突破

～「MEXCBT」の入り口となる学習マネジメントシステム(学習eポータル)としては、
4割以上のシェアを獲得～

NTTコミュニケーションズ(以下NTT Com)が提供するクラウド型教育プラットフォーム「まなびポケット」の申し込みID数^{*1}が300万IDを突破しました。

また、「まなびポケット」は、「GIGAスクール構想」を実現するプラットフォームとしての活用に加え、「MEXCBT」^{*2}の入り口となる「学習マネジメントシステム」(以下学習eポータル^{*3})としての用途においても全国の多くの自治体から採用いただいています。

NTT Comは、引き続き児童生徒の特性に応じた個別最適な学び、教職員の方々の働き方改革に資するさまざまな機能を提供し、より多くの教育現場で利活用いただく取り組みを続けていきます。

1. 背景

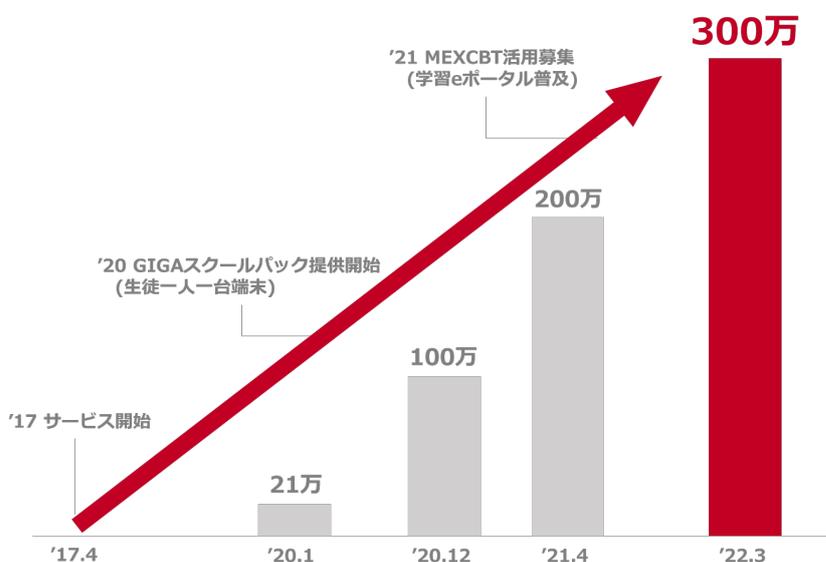
「まなびポケット」は児童生徒、教職員が一人ひとつのアカウントを持ち、さまざまな学習コンテンツを利用できるクラウド型教育プラットフォームです。インターネットとブラウザがあれば、どこからでもアクセスできるクラウド上において、提携するさまざまなサービス(授業支援・協働学習支援ツール、個別学習支援教材、英語やプログラミングの学習教材など)を提供します。

2017年からサービス提供を開始し、2021年4月時点では約200万IDのお申し込みをいただいております。また、2021年12月には文部科学省が推進する「MEXCBT」と接続し、活用時の入り口となる「学習eポータル標準モデル」^{*4}に準拠したプラットフォーム」としてもご利用いただいています。

2. 300万ID突破

この様な背景の中、「まなびポケット」は2022年3月時点で700以上の自治体、8,000校以上の学校よりお申し込みをいただき、300万IDを突破しました。

まなびポケット申し込みID数の推移



NTTコミュニケーションズ株式会社 広報室

NTT Communications Corporation Public Relations Office

〒100-8019 東京都千代田区大手町 2-3-1 大手町プレイスウエストタワー

OTEMACHI PLACE WEST TOWER 2-3-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8019, Japan

Tel (03)6700-4010 International +81 3 6700 4010

3. 学習 e ポータルとして 4 割以上のシェアを獲得

2021 年 11 月 1 日から 2022 年 1 月 31 日まで、文部科学省にて「MEXCBT(機能拡充版)の活用募集」が実施され、学校設置者※5 数で約 900、学校数で約 8,500 校（うち実証用の学習 e ポータルは約 230 の学校設置者、約 1,300 校）のお申し込みがありました。

「まなびポケット」は、そのうちの 291 の自治体、3,007 校に採用いただいています。

実証用の学習 e ポータルを除いた、商用の学習 e ポータルとして 4 割を超える学校設置者に導入いただけており、トップクラスのシェアを獲得しています。

4. さらなる利活用に向けた機能拡充

「まなびポケット」はさらなる利活用の促進に向け、学校現場や保護者向けにあらたな機能を提供していきます。2022 年度は以下の機能のリリースを予定しています。

(1) 教育委員会向け活用レポート機能(2022 年度 第 1 四半期予定)

教育委員会向けに、各学校や教職員の活用状況を把握できる「活用レポート機能」を提供します。これにより、各学校での「学習コンテンツの利用状況」や「研修会実施後の活用状況の変化」などを把握することが可能です。

データを利活用することで、利用実態に即した支援を各教育委員会にて検討することができます。

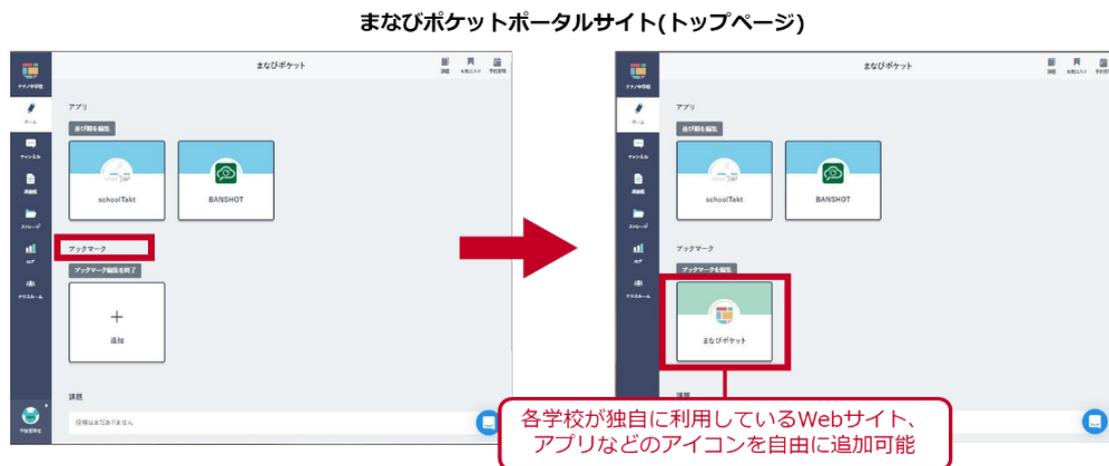
教育委員会向け活用レポート機能のイメージ



(2) ポータルブックマーク機能(2022年度 第1四半期予定)

「まなびポケット」ポータルサイトのトップページに、各学校が独自に利用するWEBサイトやWEBアプリケーションのURLリンクをブックマークできる機能を提供します。これにより、まなびポケット上で利用する学習コンテンツ以外も含めた、学習の総合ポータルサイトとしてご利用いただけます。

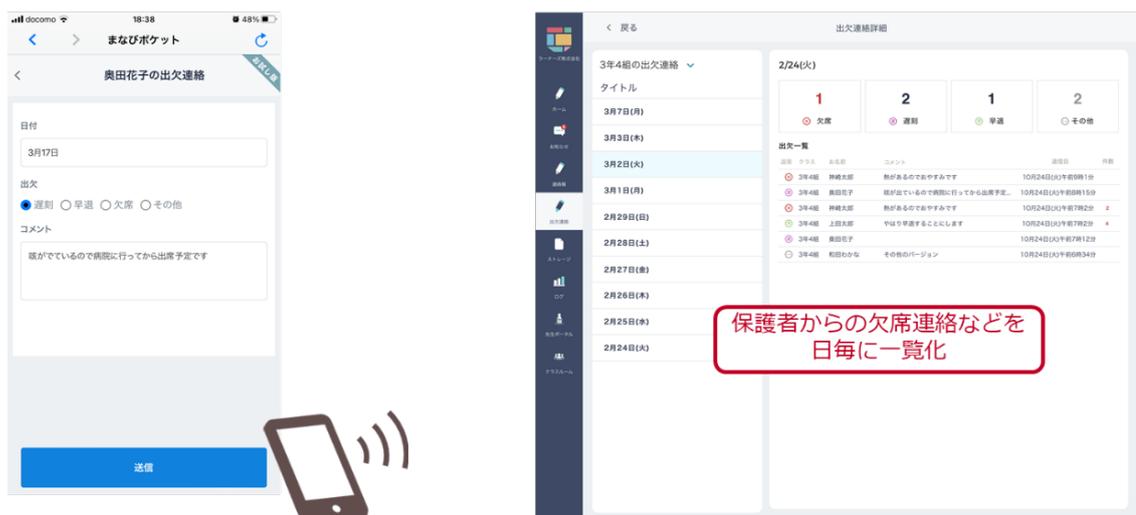
ポータルブックマーク機能のイメージ



(3) 出欠情報集計機能(2022年度 第2四半期予定)

保護者からの出欠連絡などを、先生が日毎に一覧で確認できる機能を提供します。紙の連絡帳や電話による出欠連絡からデジタル化することで、保護者はいつでもスマートフォンから出欠連絡などを行うことができます。また、先生は出欠連絡の集計結果をいつでも把握可能となり、ワークスタイル変革にも貢献します。

出欠情報集計機能のイメージ



NTT ドコモ、NTT Com、NTT コムウェアは、新ドコモグループとして法人事業を統合し、新たなブランド「ドコモビジネス」を展開しています。「モバイル・クラウドファースト」で社会・産業にイノベーションを起こし、すべての法人のお客さま・パートナーと「あなたと世界を変えていく。」に挑戦します。



<https://www.nttdocomo.co.jp/biz/special/docomobusiness/>

NTT Com は、事業ビジョン「Re-connect X[®]」にもとづき、お客さまやパートナーとの共創によって、With/After コロナにおける新たな価値を定義し、社会・産業を移動・固定融合サービスやソリューションで「つなぎなおし」、サステナブルな未来の実現に貢献していきます。

Re-connect X

<https://www.ntt.com/about-us/re-connectx.html>

- ※1：ID 数には、まなびポケットを利用する教職員、児童生徒、保護者の ID が含まれます。
- ※2：「学びの保障オンライン学習システム(「MEXCBT」(メクビット))」は文部科学省が開発をすすめる、児童生徒が学校や家庭において、国や地方自治体などの公的機関などが作成した問題を活用し、オンライン上で学習やアセスメントができる CBT(Computer Based Testing)システムです。CBT は問題用紙やマークシートなどの紙を使わずコンピューターを利用した試験をさします。
- ※3：学習 e ポータルは、GIGA スクール構想で整備された一人一台環境と高速ネットワークを活かし、ソフトウェア間の相互運用性を確立してユーザーにとっての操作性を向上させるとともに、教育データをより良く活用するために構想された、日本の初等中等教育向けのデジタル学習環境のコンセプトのことで。
- ※4：「学習 e ポータル標準モデル」は一般社団法人 ICT CONNECT 21 がまとめた、学習 e ポータルのコンセプトに関する概要、技術仕様をさします。
- ※5：「学校設置者」は学校を直接運営する国（国立学校）、地方公共団体（公立学校）、学校法人（私立学校）のことで。